

第7次沖縄県医療計画について

○新垣 新

第8次計画で増床が可能かどうか検討していくとのことですが、その状況はどうなっていますか。

○保健医療部長

第8次医療計画で増床に当たっては、基準病床数という法定の病床を既に上回っていて、自治体の人口の急激な増加、あるいは高齢人口が増加する等の様々な試算を行って国と調整する必要がございます。

今回は、459床増床することができましたけれども、それは人口増加の状況等によって国と調整が必要ですので、今のところは予断を持って申し上げられないという状況です。

○新垣 新

分かりました。ぜひ頑張ってくださいと思います。その中で、医師、看護師、介護士の増員や、リハビリ、看取り等も強化していただきたい。

特に看取りと在宅診療の医師は、県内のニーズが高く、第6次から指摘されている問題ですが、第7次では成果が見えているのでしょうか？

○保健医療部長

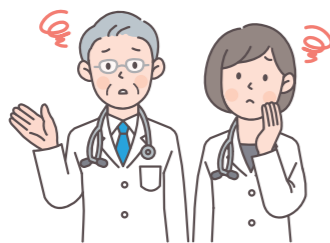
沖縄県はまだ全国と比べても、在宅医療の普及という面では課題があるものと認識をしておりますので、先ほど申し上げましたような医師に対する研修、あるいはその他の歯科医師、看護師、それから薬剤師等についても在宅医療に関わるような働きかけを行っているところです。

それによって体制を強化して、今後高齢者人口がどんどん増えていきますので、在宅となった場合でも対応できるように介護部門とも連携して、体制の強化を図っているところです。

○新垣 新

ぜひ体制強化、頑張ってください。

医者不足、看護師不足、介護士不足、看取り在宅支援が人手不足



議会で答弁する新垣アラタ

糸満市潮平における県道82号線の大雨冠水時の改善について 2月議会代表質問、6月議会一般質問、11月議会一般質問、2月議会一般質問

○新垣 新 (パネル掲示)

前々からずっと言ってきました。もう40年近く糸満市と沖縄県の言い分です。押しくらまんじゅうなんです。被害に遭っている方はどなたになりますか。伺います。

○土木建築部長

付近に住まわれている糸満市民の方だと承知しております。

○新垣 新君

糸満市民は県民ですか。伺います。

○土木建築部長

県民でございます。

○新垣 新

もう今年でいいかげんに解決していただきたいです。原因も分かっています。

白川の公有水面埋立ての責任の所在が決まっていないから、これで40年糸満市民が困っています。沖縄県民が困っているのです。せめて今年の梅雨頃には解決していただきたい。

マングローブの伐採、しゅんせつ工事、ヘドロを取る。そうすることによってこの冠水が改善できます。

改めて伺います。もう解決に向かって県が引き取ってほしい。県道ですよ、そこを糸満市のせいにして駄目です。伺います。

○土木建築部長

我々もこの冠水対策については、非常に重要なことだと認識をしています。今年度も、糸満市と度々調整を重ねております。雨水幹線の放流先であるこの水路につきましては、今後は市が管理していくという方向で調整をしております。令和5年3月までに、水路に関する協定書の締結に向けて取り組んでいるところです。協定締結後、今年の梅雨どきまでには、県は市と連携して、樹木等の伐採を実施していきたいと考えております。

○新垣 新

前進は評価します。でも本来だったら管理は県です。糸満市の県議会議員として、私自身一人の糸満市民として、不満があるということをご指摘しておきます。



82号線の冠水

沖縄・自民党 県議会活動報告

新垣新

沖縄県議会議員

(しんがきあらた)



会派沖縄・自民党

詳しくは、会派ホームページをご覧ください



〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3
沖縄県議会棟621号
TEL(098)866-2754 FAX(098)866-2773

代表質問一般質問を終えて前向きな答弁を頂いた。今後、議会の場でチェックをし、県民生活の向上を図り良くしていきたい。



2月議会代表質問

- 1: 深刻な軽石問題について
- 2: 農林水産業の振興について
- 3: 県内社会資本の整備について
- 4: 子供・子育て支援について
- 5: 教育・文化スポーツの振興について
- 6: 県知事選挙の期日前投票所増設について

6月議会一般質問

- 1: 長引く梅雨時期における災害について
- 2: 農業共済加入促進支援事業の事業終了について
- 3: 新型コロナ感染対策及び経済対策の取組について
- 4: ウクライナ危機における物価高騰について
- 5: 日本ロボット工業会主催の「ロボットアイデア甲子園」沖縄開催について

11月議会一般質問

- 1: 物価高騰について
- 2: 第7次沖縄県医療計画について
- 3: 糸満市潮平における県道82号線の大雨冠水時の改善について
- 4: 県道77号線、真栄里から喜屋武線の進捗について
- 5: 県内企業への生産性向上を目的としたデジタル化支援について
- 6: 離島の小中学生への部活動支援について

2月議会一般質問

- 1: 物価高騰について
- 2: DX社会の推進について
- 3: 糸満市潮平における県道82号線の大雨冠水時の改善について
- 4: 県道77号線・平和の道の進捗状況について
- 5: 県漁業協同組合と共に海洋深層水導入に向けての基本構想について
- 6: スポーツアイランド構想について
- 7: 真栄里地区海岸保全区域の護岸整備の進捗状況について
- 8: 待機児童解消のための保育士宿舎借り上げ支援事業について

深刻な軽石問題について (令和4年2月代表質問)

○農林水産部長

軽石により影響を受けた漁業者への支援のため、海水こし器の設置補助やモズク、アーサへの異物混入対策を実施するほか、漁業者が円滑に漁業活動の再開ができるよう1か月分相当の燃油使用料を補助することとしております。県としましては、これらの支援が円滑に進むよう、引き続き市町村や水産関係団体と連携して取り組んでまいります。

○新垣 新

応急処置の御支援、本当にありがとうございます。しかしながら、エンジントラブルを防ぐフィルター等は必ず消耗します。製造メーカー既製品のフィルターも同様に支援していただきたいのですが、県の見解を求めます。

○農林水産部長

海水こし器の措置につきましては、設置の補助を想定しておりますので、これで支援してまいりたいと思います。漁船の安全操業を目的として、漁業者が漁船に海水こし器を設置する場合、13万5000円を上限に機材代金の2分の1を補助することを支援しております。

○新垣 新

知事、2分の1では本当に漁民は苦しい状況下にあります。これ2分の1と定めがあるのでしたら、県がその分の支援を、単独予算でも検討いただきたい。

○知 事

担当部局とよく相談の上、どのような支援ができるかを検討していきたいと思っております。

○新垣 新

漁民を支援していただきたい。ちゃんと向き合って、きちんと彼らの意見を聞いて助けていただきたい。救済していただきたいということを強く申し上げます。



県民生活に影響を与えている物価高騰について (令和4年6月一般質問)物流・交通事業者に対する支援について

○新垣 新

トラック協会関係者等に対する支援と救済策はどのように考えているのか見解を求めます。

○企画部長

トラックにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠り需要が拡大し、インターネットの通信販売の宅配荷物の増加等により、県内においても業界全体では営業収入が増加傾向にあるものの、公益社団法人沖縄県トラック

協会からは、燃油高騰による影響を受けているとの声も届いているところです。そのため、県では、トラック事業者が燃油高騰によりどの程度経営が圧迫されているのか、トラック協会等を通して実態把握に努めているところです。

○新垣 新

一日も早く調査を行い、トラック協会関係者及び個人トラック関係者に支援と救済のめどを早くつけてほしいんですが、これはいつ頃になるのか伺います。

○企画部長

時期については明確に示すことはできませんけれども、可能な限り早く対応してまいりたいと思っております。

○新垣 新

是非トラック協会関係者、個人トラック関係者へ早期にできるように頑張ってくださいということ強く求めます。

(令和4年11月一般質問)

前回に引き続き、経過について質問

○企画部長

交通事業者の経営状況が厳しいこと等に鑑み、運行継続支援等として、令和2年度以降、5度の補正予算において支援金等を予算措置してまいりました。また、今回提案しております令和4年度11月補正予算において、原油高騰分などの一部を補助する支援として、約6億3000万円の補助金を計上しており、交通事業者に対しては総額23億8000万円の予算措置を行っております。燃油高騰分の一部を補助する県独自の支援である沖縄県交通事業者安全・安心確保支援事業の事業者への周知については、沖縄県トラック協会を通じて周知を行っております。一方、同協会に加入していない事業者については、案内書類を郵送するなどして周知を行っております。また、事業者からの申請を促進する取組として、県の担当課において申請に関する問合せに電話等で対応するなど、事業者が申請しやすい体制整備に努めているところです。



(令和4年11月一般質問)

その他物価高騰対策について

○商工労働部長

「電気料金の値上げに伴う支援策」について／本年6月からの各補正予算編成により、影響を受ける事業者等に対して、社会経済活動を下支えする支援策を実施しております。「原油等の価格高騰の影響を受ける事業者への支援」について／おきなわ物価高対策支援金事業で、業種を問わず、法人最大50万円、個人事業者最大25万円の支援金を支給

しております。また、物価高騰の影響が続いていることから、第2弾の支援に必要な経費を11月補正予算案として提案したところであります。

○総務部長

「私立学校等物価高騰対策支援事業」について／私立学校の光熱費及びスクールバスの燃料費の物価高騰相当分を支援するため、補正予算において所要額を計上しております。

○子ども生活福祉部長

「県民及び福祉関係団体への支援」について／生活困窮者への自立支援金や低所得のひとり親への特別給付金を支給しました。保育所等に対する食材料費高騰分の支援を実施してまいりました。また、11月補正予算案において、介護・障害福祉サービス事業所や保育所、子供の居場所等における光熱費や燃料費等に対する支援事業として、約13億円を計上したところであります。

○保健医療部長

「物価高騰に対する関係団体等への支援」について／県内の医療施設等に対して、光熱水費の高騰分に対する支援を行うこととしており、今議会に補正予算約4億5700万円を計上しております。支援内容としましては、病院等の有床施設に対しては病床数の区分に応じた支援を、その他の施設については1施設当たり一定額の支援を行うこととしております。

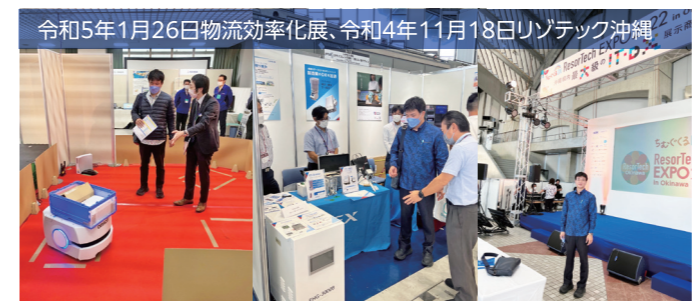
DX社会の推進について (令和5年2月一般質問)

○新垣 新

一番大事なことですが、重要なのはデジタル化ではなく、県産業の生産性の向上とそれによる県民の所得向上です。普及促進には一歩踏み込んだ伴走型支援を県が工業連合会やISCOといった業界団体への支援を通じて確実に実現してもらいたい。意見交換会を乗り越えて協議会を直ちに設置してほしい。そうすることによって沖縄県の産業の発展に寄与していくと思いますが、部長の見解を伺いたい。

○商工労働部長

県内企業の生産性を向上させ、企業の稼ぐ力を強化するためには、デジタル技術の活用というものが大変重要になってくると考えています。先ほどお話しした工業連合会とISCOとの意見交換会ですけれども、今後県としましては、オブザーバーとして参加させていただくということになってございます。その中で、両者の意見交換の状況などを確認させていただいた上で、今御提案のありました協議会の設置も含めまして、今後の支援の在り方について研究したいと考えております。



糸満漁港北地区・高度衛生管理型荷捌き施設のプロモーション戦略について 海洋深層水を生かした水産業について

○新垣 新

糸満漁港北地区・高度衛生管理型荷さばき施設のプロモーションは、具体的に明確にどういうプロモーションを行うのですか。私のイメージとしては、知事を先頭に国内外にセールスしていくというイメージです。これはアジア戦略構想の一環ですので県の説明を求めます。

○農林水産部長

糸満市場では開設者となる沖縄県水産公社を中心に、県も参画して市場の運営協議会を発足させる計画です。県としましては、様々な媒体で情報発信をするとともに、同協議会において効果的なプロモーションがどうあるべきか、でまず検討してまいりたいと考えております。

○新垣 新

この協議会には私も伺いました。これはアジア戦略構想の一環なのに、県の取組が遅かったのではないかと思います。本来は開業前に事前に販路拡大の戦略と戦術をたて、知事を先頭にどこの市場に紹介していくのか決めておくべきです。豊洲クラスの市場、すばらしいものを造っているので、ここから頑張ってくださいと聞いてほしいと思います。

○知 事

総合的なプロモーションについては、沖縄県水産公社と県も参画するその市場運営協議会で、より具体的に効果的に検討が進められると思いますので、県としてもしっかりサポートしていきたいと思っております。

○新垣 新

経済の活性化には、ちょっと取組が遅いなということ指摘いたしますが、ぜひ頑張ってくださいと思います。続きまして、海洋深層水の問題です。県は研究していきますとのことで、度重なる代表質問や多くの議員の一般質問でも民間が参入するならば本島でも検討するとの事ですが、その件に関して、民間がやる気があるなら検討するという事で理解していいですか。

○農林水産部長

先ほどの答弁と一部重複はいたしますが、県では、久米島町に海洋深層水研究所を設置して、海洋深層水を活用した研究を実施しております。また、海洋深層水を活用した養殖事業展開についての県漁連等からの要望は直接県には出されておきませんので、今後、県漁連からの要望を聞くなど意見交換はしてみたいと考えております。

令和4年10月11日にオープン高度衛生管理型荷捌き施設(イマイユ市場)

